

重源上人を支えた豪族・田口成良

東大寺で追善法要

徳島の
寺と合同
安寧・友好を祈る

鎌倉時代の東大寺再建に
尽力した高僧・重源上人を

写真をもっと
奈良新聞デジタル

支えた阿波国(徳島県)の
豪族、阿波民部大夫・田口
成良(しげよし)の追善法要
が8日、奈良市雑司町の東



重源上人像を祭る俊乗堂で営まれた阿波民部
大夫忌=8日、奈良市雑司町の東大寺

大寺俊乗堂
で、成良ゆ
かりの吉祥
院(徳島県
神山町)と
合同で初め
て営まれ
た。
成良は、
現在の同県
神山町を本
拠地とし、
平清盛に任
え、118

1(治承4)年、平家方の
武將として南都焼き討ちに
参加。壇ノ浦の戦いで、息
子を守るため源氏方に寝返
り裏切者と称されていたと
いう。

東大寺の焼失後、同寺勸
進職となった重源上人と
成良は親交を深め、成良が
阿波国に建立していた浄
土堂と丈六仏9体は成良の
死後に東大寺に移設されたと伝わる。浄土堂のそばに
成良の供養石塔が建立さ
れていたと古文書「東大寺
寺中寺外惣絵図」に記載が
あり、上人が厚く追善法要
を営んでいたどうかかえ
る。

吉祥院は成良ゆかりの仏
像を祭る寺。新居道戒住職
(51)が縁起を調査する中
で東大寺に供養石塔があっ

たことがわかり、「いつか
法要ができれば」と考えて
いたという。親交があった
海龍王寺(奈良市)の石川
重元住職を通じて東大寺に
願い出たところ、奈良と徳
島の安寧と友好を祈る合同
法要が実現した。

この日は、東大寺の橋村

公英別当が導師を務め、吉
祥院から新居住職ら5人の
僧侶が参列。奈良在住の徳
島県人会や吉祥院の信者ら
約70人が参列し、重源像を
祭る俊乗堂で成良の冥福を
祈った。平家琵琶の奉納演
奏も行われた。

法要を終えた新居住職は

「成良は裏切者とされてい
たが、この法要で浮かべられ
たのでは。小さな寺の願い
を受け入れて下さり大変あ
りがたい。奈良と徳島のい
い縁が法要を通じてつな
がれば」と話した。

同法要は、今後も毎年10
月8日に執行する予定。